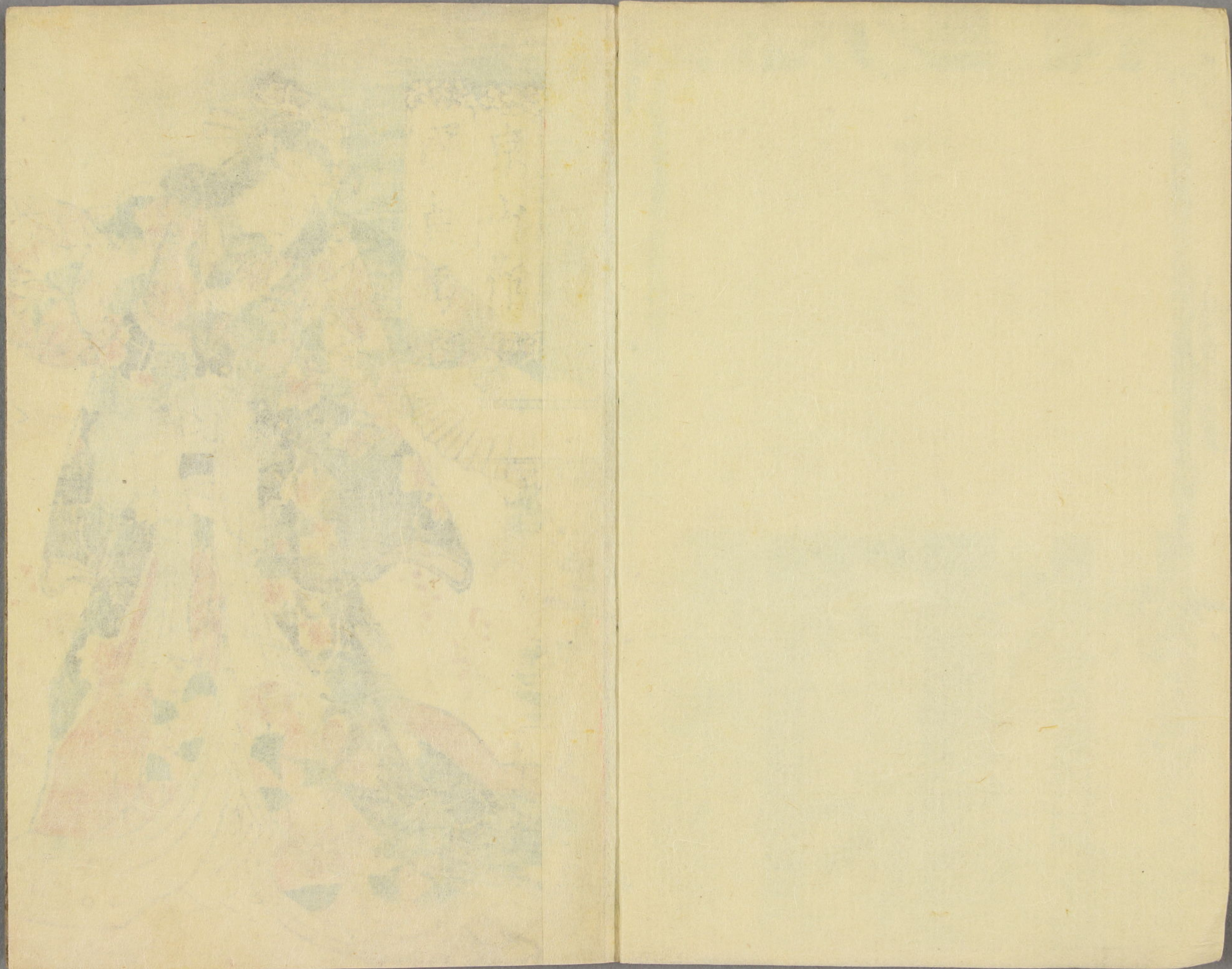


山 東 葦 京 山 作  
 香 螺 樓 國 真 西  
 八 編  
 取 理

^ 13  
 3690  
 8







京山作  
國貞画

森屋壽板



竹取物語八編  
上下



京山作  
國貞画

森屋壽板

竹取物語  
八編  
上  
下



門 へ 13  
號 3690  
卷 8



青嵐希亞思君祖經

高枝懷榮造長河

南園風雨和思生簾

甲子為龍唐陳

陶作 四 雷

抄若れ木と井とのてふ  
さを人に見るや

款の赤本

天保十二丑夏稿本  
同寅の抄を人

板元  
森屋治之助



竹反八編

是無  
他為  
青蚨  
機心也  
噫乎  
可耻



梅若の母  
班女前

月花屋の  
娘於仙

走筆之  
作意一時之  
戲手上梓  
播布供世  
上之覽  
汗赧恒不止

清瓶



吉田の  
公遊  
梅若丸

花里











① たりのせいでいふもあ  
 ののせいでいふもあ  
 二つありあまのあ  
 三つありあまのあ  
 四つありあまのあ  
 五つありあまのあ  
 六つありあまのあ  
 七つありあまのあ  
 八つありあまのあ  
 九つありあまのあ  
 十つありあまのあ



② えんときのも  
 けんのせいでいふもあ  
 よめつりきさる  
 三つありあまのあ  
 四つありあまのあ  
 五つありあまのあ  
 六つありあまのあ  
 七つありあまのあ  
 八つありあまのあ  
 九つありあまのあ  
 十つありあまのあ

① の巻のりやハハ  
 上ノ巻のりやハハ  
 中ノ巻のりやハハ  
 下ノ巻のりやハハ  
 ② ありあまのあ  
 ③ ありあまのあ  
 ④ ありあまのあ  
 ⑤ ありあまのあ  
 ⑥ ありあまのあ  
 ⑦ ありあまのあ  
 ⑧ ありあまのあ  
 ⑨ ありあまのあ  
 ⑩ ありあまのあ



① ありあまのあ  
 ② ありあまのあ  
 ③ ありあまのあ  
 ④ ありあまのあ  
 ⑤ ありあまのあ  
 ⑥ ありあまのあ  
 ⑦ ありあまのあ  
 ⑧ ありあまのあ  
 ⑨ ありあまのあ  
 ⑩ ありあまのあ



八軒

八軒の  
おと  
おと  
おと

八軒の  
おと  
おと  
おと

八軒の  
おと  
おと  
おと



二  
八軒  
おと

八軒  
おと

八軒  
おと



月夜のひかりをみよせんとて  
さくらひの女をつきのひ

梅のうらとつと月をみよせんとて  
さくらひの女をつきのひ



さくらひの女をつきのひ  
梅のうらとつと月をみよせんとて  
さくらひの女をつきのひ



さくらひの女をつきのひ  
梅のうらとつと月をみよせんとて  
さくらひの女をつきのひ

さくらひの女をつきのひ  
梅のうらとつと月をみよせんとて  
さくらひの女をつきのひ

さくらひの女をつきのひ  
梅のうらとつと月をみよせんとて  
さくらひの女をつきのひ



さくらひの女をつきのひ  
梅のうらとつと月をみよせんとて  
さくらひの女をつきのひ

さくらひの女をつきのひ  
梅のうらとつと月をみよせんとて  
さくらひの女をつきのひ



























二ひんをりとしてたのまきまきた  
 おざうらゆめほうほうていそりあそび  
 だいのひんをりあそびうまかきつて  
 ぬんあやうのかあさうせあさの上の  
 ちまろんせせびせううらあとの  
 のりのいせけらありありあての  
 めであさうの元日のあつるりこれ  
 まりてうらをうまひあつるり  
 とてか七上のあつるうまの日本  
 梅つたのうの上うまのうまを  
 けつてあつるうまのうまの  
 りあてあつるうまのうまの  
 たまののあつるうまの  
 十人あつるうまの  
 けつるうまの  
 けつるうまの  
 むんあつるうまの  
 むんあつるうまの  
 むんあつるうまの  
 むんあつるうまの

京山作 困貞画  
 竹取八編終巻



三あつるの  
 まあつるの  
 たのあつるの  
 けつるの  
 わつるの  
 みあつるの  
 ひあつるの  
 たつるの  
 たつるの  
 たつるの  
 けつるの

竹取の  
 八編の  
 終巻の  
 困貞の  
 画の  
 名の  
 竹取の  
 八編の  
 終巻の  
 困貞の  
 画の  
 名の

